

地球温暖化は 終わった。

- 科学と政治の大転換を -

講師

中央大学理工学部名誉教授
ふ かい ゆ う

深井 有 氏



専門分野： 金属物理学、材料科学、地球科学

略歴： 千葉県出身。1934 年生まれ。東京大学理学部物理学科（地球物理学専攻）卒業。同大学院数物系研究科博士課程修了（理学博士）。中央大学専任講師、助教授、教授を経て 2005 年定年退職、名誉教授。

主要著書：「拡散現象の物理」（朝倉書店 1988 年）、「水素と金属」（内田老鶴圃 1998 年）、「The Metal-Hydrogen System」（Springer 2005 年）、「気候変動とエネルギー問題」（中公新書 2001 年）、「地球はもう温暖化していない」（平凡社新書 2015 年）など。

日本では、多くの気象・気候学者は温暖化ムラに安住して CO₂ 温暖化論を墨守しており、多くの国民も CO₂ 温暖化を信じ込まされている。しかし欧米では、気温の頭打ち現象や IPCC の度重なる不祥事が広く知られるにつれて、人為的温暖化を信じる人は激減している。日本の常識は世界の非常識になりつつある。

今、重要なのは、太陽活動の低下による寒冷化が予測されているという認識である。これは 100 年先ではなく目前に迫った問題なのだ。「地球温暖化」の科学と政治は、いま大転換を迫られているのである。

講演

講師との 交流会

講演会終了後、講師との交流会を予定しています。講演会と合わせてお申し込みください。
【交流会費 2500 円（当日徴収）、16:45-19:00 カフェ・サラ（名古屋工業大学内）】

申込方法 など

参加費： 無料、定員：80 名 **参加申込方法：** 8 月 26 日（金）までに、所属、氏名、TEL.、FAX、e-mail、交流会への参加希望の有無を明記の上、下記へご連絡下さい。（当日受付も可。）
問合せ・申込み先： 日本鉄鋼協会東海支部事務局 e-mail: tokai@numse.nagoya-u.ac.jp

日時 場所

平成 28 年

9 月 6 日（火） 15:00
-16:30

名古屋工業大学
2 号館 1 階 0211 教室
名古屋市昭和区御器所町
（名古屋市営地下鉄・JR 鶴舞駅
下車徒歩 10 分）

大学までのアクセス

<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

